

感染症発生動向調査／多摩立川感染症週報

2026年 第27週 (2026年6月29日～7月5日)

東京都多摩立川保健所 保健対策課 電話042-524-5171(代表)

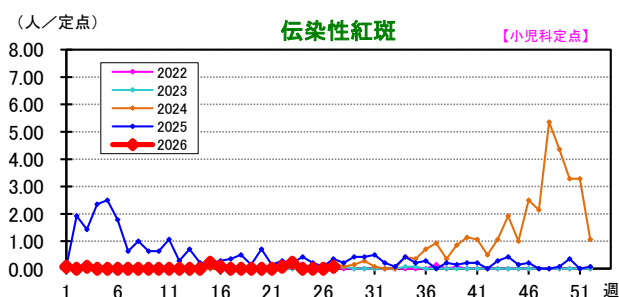
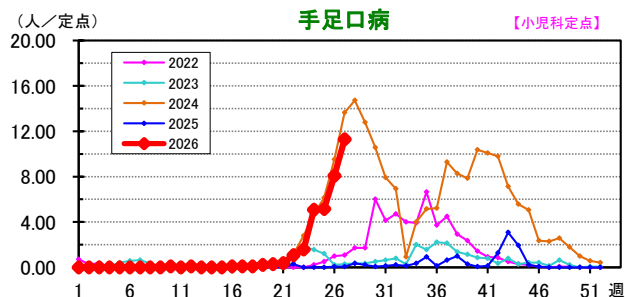
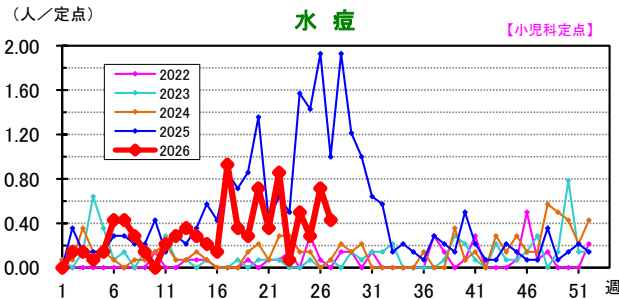
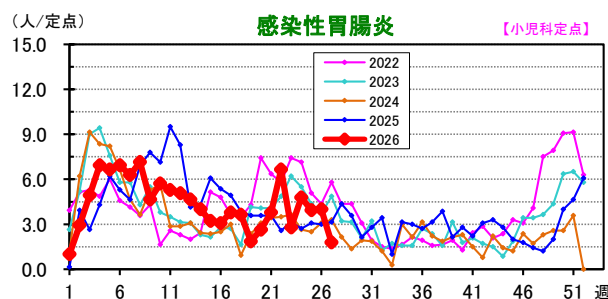
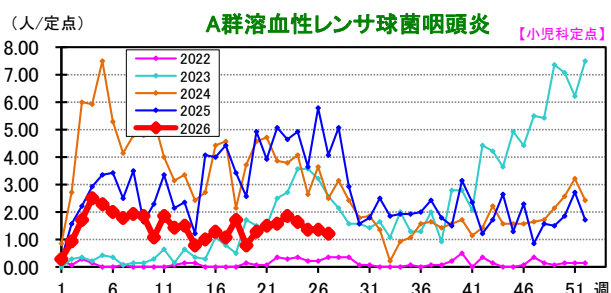
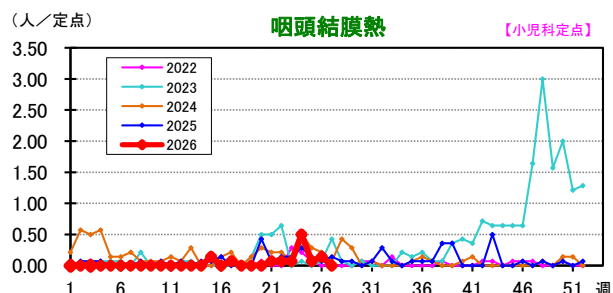
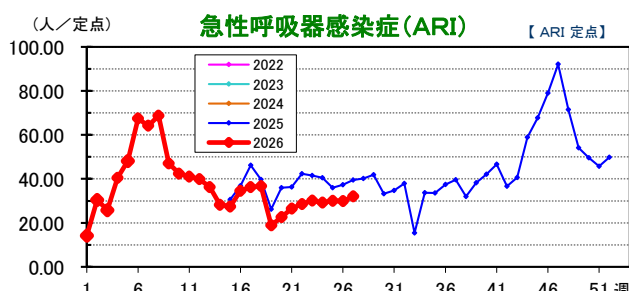
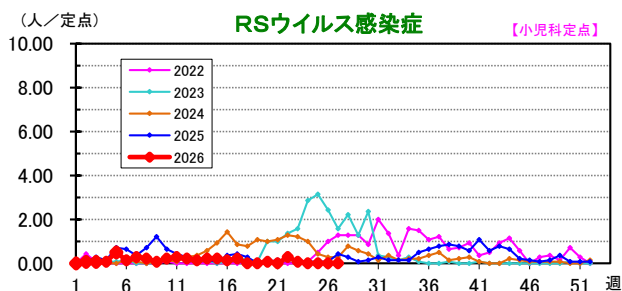
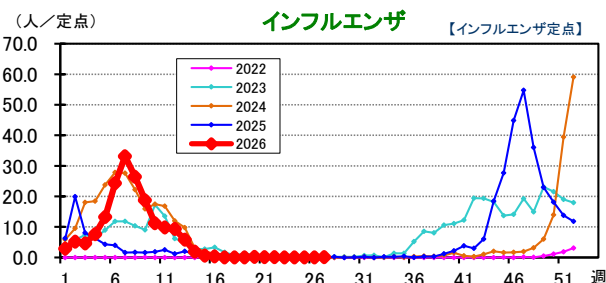
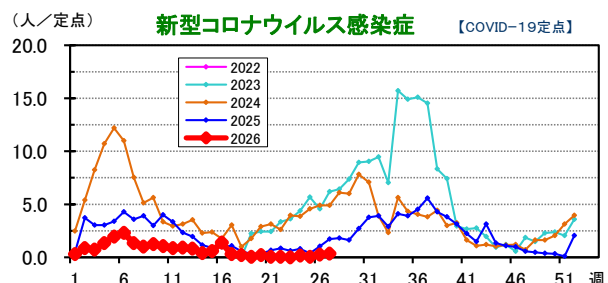
＊管内(立川市・昭島市・国分寺市・国立市・東大和市・武蔵村山市)の今週の感染症発生動向

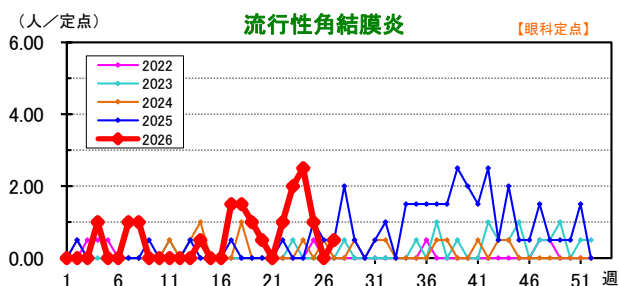
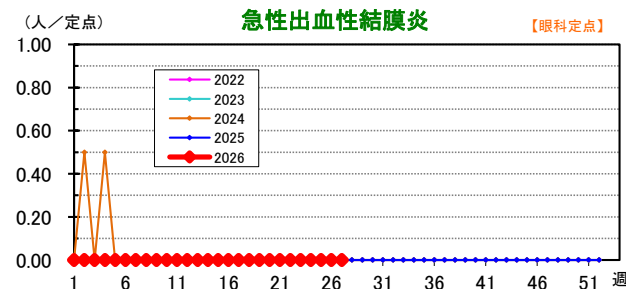
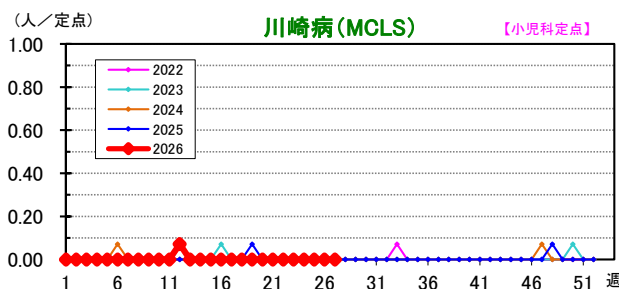
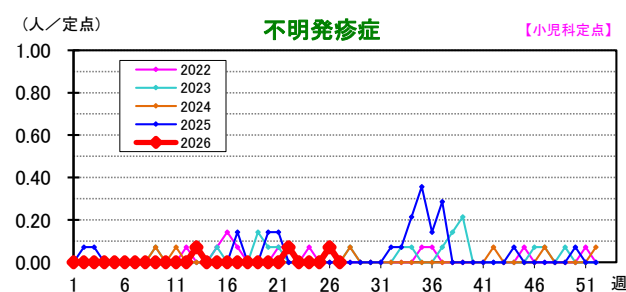
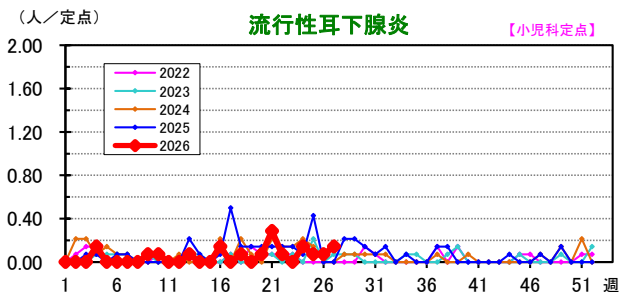
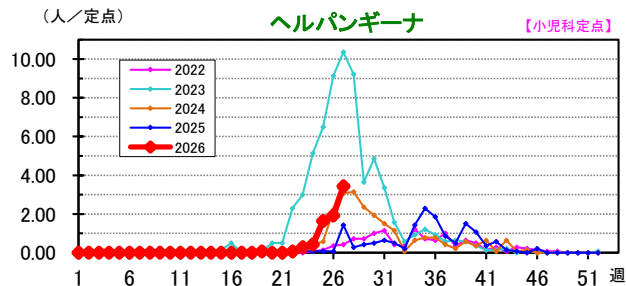
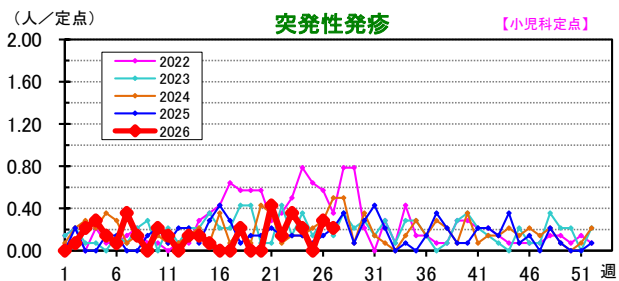
【定点把握対象疾患】＊定点医療機関:COVID-19定点21医療機関・インフルエンザ定点21医療機関・ARI定点21医療機関・小児科定点14医療機関・眼科定点2医療機関

・手足口病は定点当たり11.29と前週(8.07)から約1.4倍に急増し、4週連続で流行警報基準(5.0)を上回っています。ヘルパンギーナも3.43と4週連続で増加が続いており、夏に流行しやすい感染症に注意が必要です。手洗いの徹底やタオルの共用を避けるなど、基本的な感染予防対策をお願いします。

【感染症集団発生状況(新規)】

・手足口病13件(保育所)の報告がありました。





【都内の感染症発生動向について】
東京都感染症情報センター
<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

【国内の感染症発生動向について】
国立感染症研究所感染症情報センター
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/pdf-j.html>

* 管内定点医療機関あたり報告数(直近4週間)

疾病	2026								1週からの 報告累計数
	24週		25週		26週		27週		
	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	
新型コロナウイルス	3	0.14	1	0.05	5	0.24	7	0.33	386
インフルエンザ	1	0.05	0	0.00	0	0.00	2	0.10	3,701
RSウイルス感染症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	49
急性呼吸器感染症(ARI)	613	29.19	631	30.05	627	29.86	673	32.05	19,883
咽頭結膜熱	7	0.50	1	0.07	2	0.14	0	0.00	16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23	1.64	19	1.36	19	1.36	17	1.21	537
感染性胃腸炎	67	4.79	55	3.93	56	4.00	25	1.79	1,628
水痘	7	0.50	4	0.29	10	0.71	6	0.43	117
手足口病	71	5.07	72	5.14	113	8.07	158	11.29	310
伝染性紅斑	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0.07	10
突発性発疹	3	0.21	0	0.00	4	0.29	3	0.21	51
ヘルパンギーナ	6	0.43	23	1.64	27	1.93	48	3.43	62
流行性耳下腺炎	2	0.14	1	0.07	1	0.07	2	0.14	18
不明発しん症	0	0.00	0	0.00	1	0.07	0	0.00	3
川崎病(MCLS)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1
急性出血性結膜炎	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
流行性角結膜炎	5	2.50	2	1.00	0	0.00	1	0.50	29

東京都は7月2日、手足口病の患者報告数が2年ぶりに都の警報基準を超えたと発表しました。主に乳幼児に多い夏の感染症で、多くは軽症で経過しますが、まれに髄膜炎や脳炎などの合併症を起こすことがあります。特別な治療法はなく対症療法が中心となるため、ぐったりする・繰り返し吐く・強い頭痛などがある場合は早めに医療機関を受診してください。なお、大人が初めてかかると子どもより強い症状が出ることもあります。原因ウイルスにはアルコール消毒が効きにくいので、予防には流水と石けんによる手洗いが最も効果的です。また、症状が治まった後も2～4週間は便からウイルスが排出されるため、おむつ替えやトイレ後の手洗いを徹底しましょう。

[東京都感染症情報センター](#) > 「手足口病」